

第2期紫波町下水道事業経営戦略（素案）の概要

1章～2章 経営戦略の目的・現計画の評価・事業概要【1～10 ページ】

紫波町下水道事業経営戦略は、将来にわたり持続可能な下水道サービスが提供できるよう、総務省から策定が求められており、国庫補助金の要件にもされている中長期的な収支計画です。紫波町でも経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を目的として、平成28年12月に策定、令和3年に改定を行いました。今回、策定した計画の期間満了に伴い、第2期（令和8年度～令和17年度まで）の経営戦略の策定を行います。

現計画（令和3年度～令和7年度）の達成状況

【評価基準】

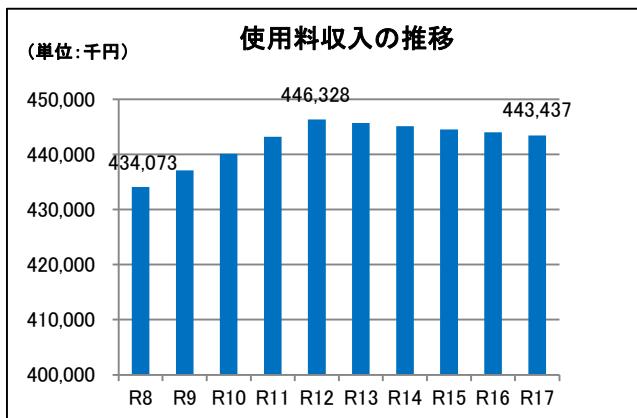
達成	・	・	・	・	・	5ヶ年すべてで達成
順調	・	・	・	・	・	目標値を下回る年度が2ヶ年以下
未達成	・	・	・	・	・	目標値を下回る年度が3ヶ年以上

数値目標		決算値	決算値	決算値	決算値	見込	達成状況
		令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	(※) 令和7年度末	
①経費回収率	目標値	91.8%以上					順調
	決算値	94.2%	92.4%	87.4%	88.3%	91.8%	
②普及率	目標値	94.0%以上					達成
	決算値	94.0%	94.3%	94.6%	94.8%	95.7%	
③水洗化率	目標値	90.0%以上					順調
	決算値	89.4%	90.4%	90.9%	91.3%	91.4%	
④一般会計繰入金	目標値	787百万円以下					順調
	決算値	816百万円	812百万円	784百万円	770百万円	783百万円	
⑤当年度純損益	目標値	0円（収支均衡）					順調
	決算値	△24百万円	14百万円	4百万円	11百万円	3百万円	

※令和7年度については、下水道事業会計第2号補正時点の見込額を計上。

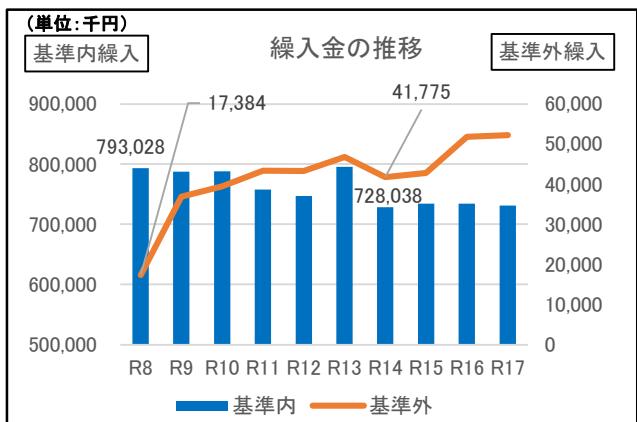
3章 将来環境の見通しと課題【11~19 ページ】

(1) 収入



①使用料収入

公共下水道区域の増加により
令和 12 年頃まで増加見込。その後、人口減少等に伴い、緩やかに
減少する見込みです。



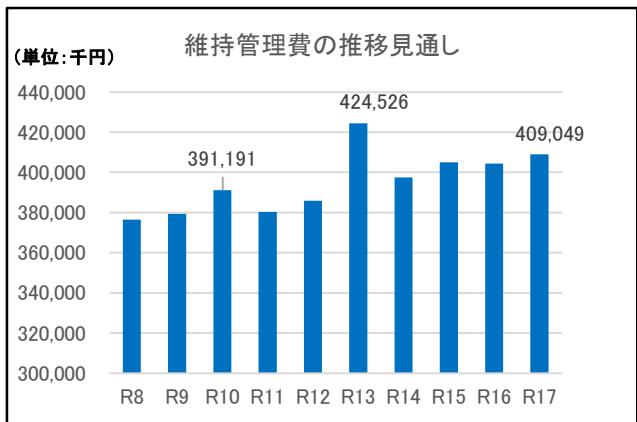
②一般会計から下水道会計への繰入金

国が示す基準内の繰入金
概ね現在の水準を維持出来る見込み
です。

国が示す基準外の繰入金

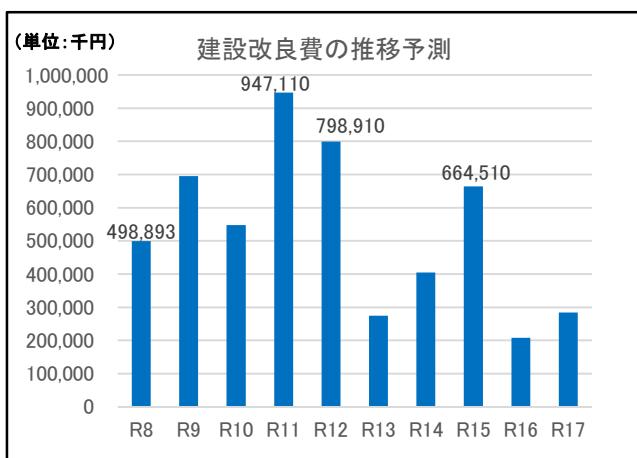
使用料収入の減少とともに緩やかに
減少する見込みです。

(2) 支出



①維持管理費

物価高に伴う動力費、光熱水費、
人件費上昇に伴い増加見込です。



②建設改良費 (投資)

処理施設の更新工事等により令
和 9 年度から～令和 12 年度に建設
改良費が増加見込です。

4章 投資財政計画【20~22 ページ】

令和 8 年度から令和 17 年度までの 10 年間とします。「現在の使用料単価にて、今後 10 年間経営を続けた場合」という前提のもと試算しています。

5章 経営の基本方針【23~31 ページ】

これからの主な経営課題【19 ページ】

- ・施設の老朽化に伴う維持管理、更新費用の増加
- ・国の示す基準外の繰入金の増加



課題解決のための主な取り組み【23~31 ページ】

(1) 収益向上のための取組

経費回収率向上に向けたロードマップの作成し、令和 13 年度までを目途に使用料改定を検討します。

(2) 費用削減のための取組

職員数の減少等に備え、民間技術やデジタル技術を活用した経営を検討します。

- ・官民連携の検討
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

(3) 新たな視点での取り組み

下水道分野においても温室効果ガスの削減目標が位置づけられたことから、GX（グリーントランスフォーメーション）の取組について検討します。

経営戦略策定に向けた今後の予定

1月 パブリックコメント

3月 紫波町議会 3月会議 議案提出